

調 査 結 果 総 括 表

〈凡例〉

(1) 調査団体番号：次の番号を用いた。

No.	団体・学校名	No.	団体・学校名
1	土庄町立土庄中学校科学部	15	綾上町立綾上中学校3年(総合)環境コース
2	さぬき市立造田小学校	16	丸亀市立城東小学校
3	高松市立古高松中学校	17	琴南町立琴南中学校
4	香川県立高松北高等学校	18	満濃町立満濃中学校
5	高松市環境保全課	19	多度津町環境課 多度津町立豊原小学校4年生
6	香川県立高松商業高等学校 科学部	20	琴平町立琴平中学校
7	香川県立高松高等学校 生物部	21	香川県立多度津水産高等学校
8	香川県立高松工芸高等学校 理科部	22	多度津町環境課 多度津町立四箇小学校3年生
9	塩江町立塩江中学校	23	善通寺こどもエコクラブ
10	日本ボーイスカウト香川連盟高松第10団	24	香川県立高瀬のぞみが丘中学校
11	香川県立高松西高等学校理学部生物班	25	観音寺市立観音寺東小学校
12	香川県立高松工芸高等学校環境研究同好会	26	香川県立観音寺第一高等学校
13	国分寺町立国分寺中学校	27	観音寺市立中部中学校
14	綾南町立綾南中学校		

※ 団体・学校名は調査時点の名称

(2) 天候：次の記号を用いた。

F：晴れ C：曇り R：雨

(3) 生物を採取した場所：次の番号を用いた。

- 1：川を中心
- 2：上流から見て右岸
- 3：上流から見て左岸

(4) 流速：次の記号を用いた。

F：速い（60cm/秒以上）
M：普通（30～60cm/秒）
S：遅い（30cm/秒以下）

(5) 川底の状態：次の番号を用いた。

- 1：頭大の石が多い
- 2：こぶし大の石が多い
- 3：小石と砂
- 4：砂と泥
- 5：泥
- 6：コンクリート
- 7：コケ
- 8：その他

(6) 指標生物の出現状況

出現状況の欄に○印をつけた。ただし、出現した指標生物のうち、最も多かった種類には●印をつけた。

(7) 生活環境の保全に関する環境基準（河川）

わたしたちの身近な河川などについて、各利用目的（例えば水道の水に利用される）などを考慮し、環境保全上、維持、達成することが望ましい環境基準として次のとおり定められている。

河川の環境基準

類型	県内の河川	基準値	
		水素イオン濃度 (pH)	生物化学的酸素要求量 (BOD)
AA	県内にAA類型の河川はない。	6.5以上 8.5以下	1 mg/ℓ 以下
A	馬宿川、湊川、津田川、香東川上流、本津川上流、綾川、土器川、金倉川、弘田川、財田川上流など	6.5以上 8.5以下	2 mg/ℓ 以下
B	新川、香東川下流、本津川下流、大東川上流、財田川下流、柞田川、伝法川など	6.5以上 8.5以下	3 mg/ℓ 以下
C	番屋川、大東川下流など	6.5以上 8.5以下	5 mg/ℓ 以下
D	相引川、一の谷川など	6.0以上 8.5以下	8 mg/ℓ 以下
E	摺鉢谷川、西汐入川など	6.0以上 8.5以下	10mg/ℓ 以下

※ 河川の環境基準は、水素イオン濃度、生物化学的酸素要求量のほか、浮遊物質、溶存酸素量、大腸菌群数などについても定められている。

